



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

●木陰の下にいる姉妹がいます。



- ・この作品はある絵本の一場面です。
絵本のタイトルは何でしょう。
- ・バングラデシュの国のお話です。
日本によく似た国旗は、2色です。この絵にも描かれた青葉を表す「みどり」と、もう1色は何色で、何を表しているでしょう。

*この絵本の売上げの一部が日本ユニセフ協会をとおして、バングラディッシュ教育事業に募金されました。

●浜辺の絵です。

- ・この絵が展示されている部屋の名前は何でしょう。

- ・この作品には言葉は添えて展示しています。
そこには画中の犬が女の子に、自分の幸せは何かを伝えています。それは何でしょう。



- ・夏の季節の展示で、もうひとつ浜辺を描いた水彩画の作品があります。その絵のタイトルは何でしょう。
(ヒント：階段)

- ある絵本のワンシーンです。



- ・何と言う絵本のワンシーンでしょうか。
- ・「ここは どこ……」とあたまを抱えているシーンです。
広い空間に小さく人物を描く事で、途方に暮れている心情が画中から感じとれます。
あなたがもしこんな場所に来たら、どうしますか？
- ・空は少し、グラデーションになっていて、筆の跡が空気の流れのようです。
空気を描く画家と言われる葉祥明さんの技術の高さが伺えます。
さて、この少年はどこにいくでしょうか。想像して下さい。

*葉祥明さんの作品には、観る人が入り込む「余地」があります。絵の中に風や空気、太陽の暖かさを感じることで、自身の感覚や感性が磨かれるかもしれません。ゆっくりと静かに鑑賞してみましょう。